

## 早朝商店街朝市始まる

木造地区の有楽町と千代町商店街で6月5日、今年度最初の早朝商店街朝市が開催され、多くの市民らでにぎわいました。開会セレモニーでは、福島市長が「朝市を盛り上げ、つがる市を元気にしましょう」とあいさつ。長谷川靖久実行委員長がガンバロー三唱し、朝市が開幕しました。

朝市では地元の野菜、果物、海産物などが販売され大勢の買い物客が新鮮な産品を買い求めていました。また、おしるこやけの汁などの振舞イベントも行われ、買い物客らは舌鼓を打っていました。

朝市は10月まで第1第・3日曜日午前6時30分から8時30分まで開催されます。



多くの買い物客でにぎわう朝市



LED電球を手渡す佐井所長（右）

## 節電に役立てて 東北電力がLED電球寄贈

東北電力五所川原営業所（佐井順一所長）が、節電に役立ててもらおうと5月30日、市役所にLED（発光ダイオード）電球40個を寄贈しました。LED電球は、東芝東北支社から東日本大震災の影響により心配される電力不足に備え、節電の取り組みの一環として東北電力に贈られたものです。

佐井所長は「LED電球は通常の白熱電球に比べ寿命が長く省エネ。節電の一助にしてください」と福島市長に手渡しました。寄贈されたLED電球は、早速、成人病センターの病室のベッドライトに取り付けられました。

## 定期観光バスツアーで市内名所巡り

市観光協会（伊藤良二会長）が主催する定期観光バスツアーが6月7日から始まりました。ツアーに先立ち、市役所前では出発式が行われ、ツアー客を含む関係者ら約30人が参加。出発式終了後、ツアー客は最初の観光スポットであるベンセ湿原で鮮やかなニッコウキスゲの花などを満喫していました。

参加した市内在住の女性は「こんなにいいところがあるんだと改めて気付かされました」と感嘆の声。ボランティアガイドの山本薫さんは「ベンセ湿原ではニッコウキスゲはもちろん、鳥の声や風などの自然の魅力も感じてほしい」と話していました。



一面にニッコウキスゲが咲き乱れるベンセ湿原



力強く荒馬を演じる6年生の児童

## 牛瀧町で五穀豊穡を願う虫送り

牛瀧町で5月29日、伝統行事「虫送り」が行われ、牛瀧小学校児童と保護者ら約150人が参加し、五穀豊穡と無病息災を祈願しました。

虫送りは、後継者不足等で一時途絶えていましたが、昭和62年頃、当時の牛瀧小PTA役員らの努力によって復活し、現在では学校、PTA、地域が一体となって開催されています。

この日はトラックに乗せた2体の虫を先頭に、殿様やお姫様の仮装、赤いじゅばんなどを身に付けた児童や保護者が「サンサンソーレ」と元気な掛け声とともに太刀振り舞を披露し町内を練り歩きました。運行後、虫は集落の入口2箇所に祭られました。



## 国際貢献に意欲 長谷川里子さんが青年海外協力隊へ

国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊の日本語教師として中央アジアのキルギス共和国に出発する長谷川里子さん（木造）が6月14日、市役所を訪れ福島市長に抱負を述べました。

長谷川さんは函館市の専門学校を卒業後、ロシアで3年間、日本語教師の経験があり、「もっと広くさまざまな人たちに日本語を教えられるようになりたい」と弘前学院大学に入学。卒業を機にJICAに応募し、今回キルギス民族大学に2年間赴任することになりました。長谷川さんは「気負わず穏やかな気持ちで臨みたい。授業以外にも日本の習い事などを通して文化を伝えられたら」と話していました。



福島市長に抱負を語る長谷川さん（中）



「となりのトトロ」のテーマ曲で指揮者体験

## 迫力ある生演奏に魅了

航空自衛隊北部航空音楽隊による音楽鑑賞会が6月13日、柏小学校で開催され、全校児童や父母ら約350人が迫力ある生演奏を楽しみました。

同音楽隊は主に東北3県と北海道で音楽活動をしており、この日はアニメソングやヒット曲などおなじみの楽曲を披露し、児童らを魅了しました。

また指揮者体験コーナーでは、挑戦した3人の児童が緊張した面持ちで音楽隊を指揮。1年生の北島龍月君は「思ったより難しかった」と感想を話していました。最後に音楽隊の演奏に合わせて児童らが元気に校歌を歌い、幕を閉じました。

## 手作り演歌を熱唱

第10回チャリティー手作り演歌発表会が6月19日、松の館で行われ、市内外からのカラオケ愛好者らが自慢ののどを披露しました。

発表会はつがる市の作曲家・川嶋博實さんの歌を広く知ってもらうとともに、演歌を通じて親睦を深め、地域の活性化に貢献しようと手作り演歌実行委員会（奈良一雄代表）が主催しました。この日は21組の発表者と4人のゲストが川嶋さんの歌を熱唱し、訪れた演歌ファンを魅了しました。

また、同会は収益金の一部を日本赤十字社青森県支部（東日本大震災義援金）と市教育委員会（図書カード）へ寄付しました。



「つがる路ふたり連れ」を熱唱する三上さん夫妻



元気な歌声を披露する園児たち

## お仕事ごくらうさま

6月の第2日曜日の「花の日」にちなんで木造保育所（千葉敦志園長）の園児17人が6月7日、職場訪問として市役所を訪れ、園児たちが家庭から持ち寄った花で作った花束と壁掛けの絵をプレゼントしました。

園児たちは賛美歌「この花のように」を合唱し「いつも私たちのために働いてくださってありがとうございます」と佐藤副市長に花束を手渡しました。佐藤副市長は「すてきなお花をありがとう。皆さんも先生の話をよく聞いて頑張ってください」とお礼を述べ、お菓子をプレゼントしました。

## 被災地に元気届いたよ 穂波小6年生が応援メッセージ贈る



上) 鯉のぼりと  
応援メッセージ  
を手にする小友  
小学校の児童ら

左) 穂波小6年  
生代表にお礼の  
品を贈る水口会  
長 (左)

陸上自衛隊青森曹友会（水口義昭会長）の東日本大震災被災地支援活動に、穂波小学校の児童らが応援メッセージを贈るなど役買い、被災地の子どもたちを励ました。

4月下旬、曹友会が被災地の子どもたちを励ますため、子どもの日に鯉のぼりをたくさん揚げようと企画。穂波小学校学区の保護者らが計11組の鯉のぼりを寄贈しました。さらに6年生25人が陸前高田市の児童に向けて模造紙3枚にわたる応援メッセージを添えました。

曹友会では、子どもの日を前に陸前高田市の幼稚園、小中学校11施設に鯉のぼりを贈呈。小友小学校では、大空に舞う鯉のぼりとメッセージが被災地の子どもたちに勇気を与えました。

6月2日、水口会長は穂波小学校を訪れ、「応援メッセージで被災地のみんなが元気づけられました」と児童らに現地の写真を見せて報告。6年生代表の長谷川彩香さんと工藤佳奈さんは「思っていたより元気そうでした。私たちが節電をがんばります」と話していました。

## つがる相撲クラブが全国優勝

つがる相撲クラブ（越後谷清彦監督）が6月5日に石川県金沢市で行われた第41回親善少年相撲金沢大会団体小学生の部で優勝、また個人では小学4年生の部で小関拓道君（柏小）が優勝、小学6年生の部で田中界渡君（向陽小）、中学1年生の部で越後谷知樹君（木造中）がそれぞれ準優勝を飾りました。

6月7日、一同は市役所を訪れ、佐藤副市長に喜びを報告。団体戦の大將を務めた田中君は「緊張せずに稽古どおりの実力が出せた」と話すと、佐藤副市長は「皆さんの活躍がつがる市の名前を全国に広めてくれたことに感謝します。稽古で力をつけ、さらなる活躍を目指してほしい」とエールを送りました。



大会で活躍したつがる相撲クラブのメンバー



優勝報告に訪れた稲垣中学校  
男子バレー部（上）、女子バレー部（下）

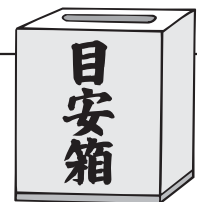
## 稲垣中学校 県春季バレーアベック優勝

第18回青森県中学校春季バレーボール選手権大会（5月28日、29日開催）で稲垣中学校の男子、女子バレー部がアベック優勝を果たし、6月15日、選手らが福島市長へ喜びを報告しました。

大会では、男子は決勝で強敵尾上中学校と対戦し1対1の接戦から3セット目を奪い見事勝利、女子は三沢第三中学校から着実に2セットを奪い、春季大会としては2年ぶりのアベック優勝を飾りました。

選手たちから報告を受けた福島市長は「次は全国大会を目指してほしい。他の学校の打倒稲垣中に対して、気持ちを緩めることなく頑張ってください」と激励しました。

# 市民の皆様から寄せられたご意見



市では、市民の声を市政運営の参考とさせていただくために、市役所、各支所、出張所（すまいるプラザ）に目安箱を設置しており、またホームページでもご意見を受け付けしています。今回は平成23年3月から6月までに寄せられたご意見のうち、主なものをお知らせします。

| 主なご意見                                                                              | 回 答（担当課）                                                                                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 防災無線が聞き取りにくい時があるので、見直しを要望する。                                                       | 市では、防災無線の放送音の調査を行い、市内全域に音声が届くよう調整をしています。強風などで放送内容が聞き取りづかった場合は音声応答装置に電話していただければ直前の放送内容を聞くことができますのでご利用ください。<br>（総務課）<br>音声応答装置0173-49-1300               |
| 市役所の受付に職員が2人いるが、受付・案内は必要ない。                                                        | 年度始めの混雑と平成23年4月からの森田支所・柏支所廃止に伴い、市役所の窓口が混雑することが予想されたため、市民の皆様にご不便をきたすことのないよう、緊急雇用創出事業により受付・案内係を設置しました。現在は、混雑期が過ぎたことから1名体制で実施しています。<br>（総務課）              |
| 木造駅を通学で利用しているので、駅舎のトイレを早朝から使えるようにして欲しい。                                            | 駅舎の構造上、トイレを利用いただくためには管理人を配置しなければなりません。駅の利用状況を考慮し、今後も現状どおりの管理方法とさせていただきたいと思いますので、駅を利用される皆様には大変ご不便をおかけしますがご理解をお願いいたします。<br>（総務課）                         |
| 県の臨時職員は、一度やっただけでも二度とできないのに、つがる市では、臨時とはかたちばかりで数年にわたり働いている。市民にも公平に仕事を与えるようにして欲しい。    | 臨時職員の任用については、任用の根拠となる地方公務員法の規定に基づき公正な選考に努めています。任用期間についても継続の雇用が可能な業種もありますので、継続雇用することが効率的・効果的であると認められる場合などには勤務成績やその他の事情を考慮したうえで継続して雇用することもあります。<br>（人事課） |
| 市営住宅の入居者選定には、どのような立場の人が関わっているのか、また選定基準はどうなっているのか。                                  | 入居者選定は、学識経験者や民生委員からなる入居者選考委員会と、建設部長、建築住宅課長、建築住宅課職員で行っています。選定基準は、現在の住宅の困窮度合いや世帯構成などを総合的に評価して選定しています。<br>（建築住宅課）                                         |
| ひなた児童館を、午前授業や振替休日の時も、長期休業と同じく8時に開館して欲しい。午前授業の時はお弁当を届けるためだけに時休を取らなければならないので、不便を感じる。 | 児童館は、複数校の児童が利用しており、午前授業や振替休日の日も学校によって異なるため調整が難しいと思われます。ご不便をおかけしますがご理解をお願いいたします。<br>（福祉課）                                                               |

寄せられたご意見に対しましては、可能なものから速やかに実施する体制をとっております。引き続き、市民の皆様からの市政に対するご意見をお待ちしております。

【問い合わせ先】 総務課 電話42-2111（内線347）

ホームページ<http://www.city.tsugaru.aomori.jp/>